“信州の自然と学びをつなぐ”

信州やまほいく 認定制度

（信州型自然保育認定制度）

長野県知事　阿部 守一

森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク　設立記念シンポジウム　　平成30年10月22日

１　自然保育に関する長野県の取り組み

しあわせ信州

長野県総合５か年計画
しあわせ信州創造プラン2.0

［基本目標］
確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

学びの県づくり

子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している「学びの県」をめざします。

1　生きる力と創造性を育む教育の推進

自然保育

- 未来を切り拓く確かな学力の育成
- 豊かな心と健やかな身体の育成
- すべての子どもの学びの保障

2　地域とともに取り組む楽しい学校づくり

- 地域と学校が連携した教育の推進
- 教員と児童生徒が向き合うための環境整備

3　高等教育の振興による知の拠点づくり

- 県内高等教育機関の魅力向上
- 県内高等教育機関を核とした地域づくり

長野県立大学
THE UNIVERSITY OF NAGANO

4　生涯を通じて学べる環境の整備

- 学びをサポートする人材育成
- 地域における学びの場の整備

自然保育ってなに？

豊かな自然環境や多様な地域資源を活用した
屋外を中心とする様々な体験活動を
保育や幼児教育に、積極的に取り入れる実践

森林面積が県土の約８割　　（全国３位）

村の数が35もある　　（全国１位）

恵まれた環境の信州で
子どもたちの将来の自立を支える
「人生の根っこ」を育みます。

信州型自然保育認定制度とは

自然保育の社会的認知、信頼性、質の向上を担保するため「自然保育」に取り組む団体を
選択できる２つの種別と24項目の基準で
長野県が独自に認定し、支援する仕組み

特化型：質、量ともに自然保育に重点を置いている活動

普及型：他のプログラムと併せて自然保育にも積極的な活動

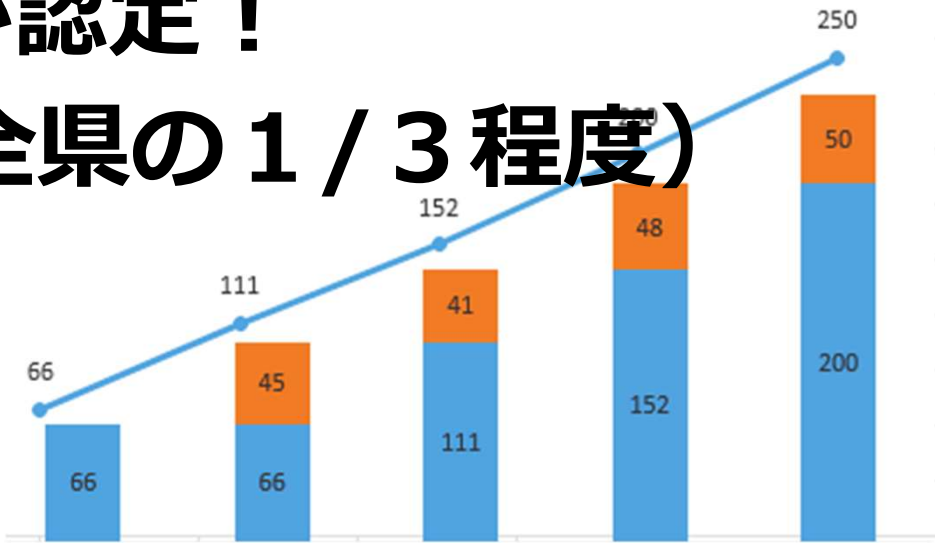
優劣ではなく
選べる種別

制度創設は平成27年4月

信州やまほいく認定制度の特長と実績

信州に生まれ育つすべての子どもの豊かな幼児期を支え、応援するため、**県内全ての園**（保育園、幼稚園、認可外保育施設等）が参加できる制度です！

制度創設４年間で**185園が認定！**
Ｈ31年度には**約250園（全県の１/３程度）**の普及を目指しています。



多様な受け皿
自然保育認定園

公立保育園・幼稚園　**109**

私立幼稚園・認定こども園　**31**

認可外保育施設（森のようちえん等）**12**

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

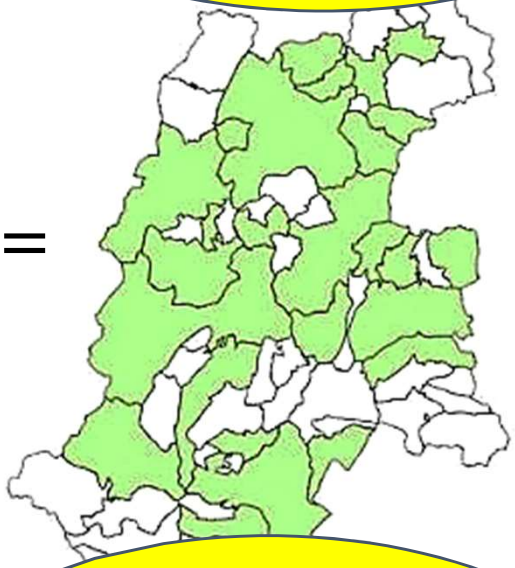
普及型認定園　**142**

※一般的な保育の中で
週5時間以上、体験活動を実施！

特化型認定園　**10**

※屋外を中心に、おもいっきり
週15時間以上、体験活動を実施！

自然保育を求め
子育て世代の
移住が増加！



33市町村
185園まで
普及！

人材育成、情報発信、財政支援

- 各園保育者の自然保育**研修交流会**の開催（4回）
- 各園に自然体験活動**専門指導者を派遣**（専門研修）

- ▲**自然保育ポータルサイト**の開設（H28年1月～）
- ▲**県外への**積極的な**情報発信**（銀座NAGANOでのセミナー他）

- ◆**公的支援のない認定園への人件費助成（H29～）**
- ◆**森林税で活動フィールド整備ほか（H30～）**

公立私立問わず積極的な支援を目指す！

（運営安定化や人材確保に向けて）

３つの支援

自然保育ポータルサイト「信州やまほいくの郷」

認定園の自然保育の実践事例が1000件以上も紹介

http://www.shizenhoiku.jp/

２　自然保育の主な効果

子どもにとっての主な効果

●子ども一人ひとりの**「非認知的能力」**
（自己肯定感、社会性、創造性等）が向上

●自由で主体的な遊びを通じて
「学びに向かう力」が向上

小学校との連携も
大切にしています！

●幼児期の外遊びにより
「学童期の体力」が向上

例えばフットケア協会による
**「歩行測定により
体幹が整う」**ことが調査研究で明らかに！

保育者にとっての主な効果

- 「仕事のストレス」が軽減され
  「保育への意欲」が向上
- 保育者としての「資質やスキル」が向上
- 保護者との「コミュニケーション」広がり
  「信頼関係」が作りやすい
- 「人材確保」の可能性が広がる

信州で働きたい！
都会からのUIターンを
希望する保育者

地域社会にとっての主な効果

- **「子育てが楽しい」という保護者が増える（自然増！）**
- **子育て世帯の「移住促進」の原動力に（社会増！）**
- **「地域住民の交流」が広がり地域が活性化**
- **「幼保小の連携」で特色ある初等教育が**
  （特に過疎地域の小規模校）

**伊那市高遠では
子育て世代が2年間で
13家庭も移住！**

**子育てのために
帰ってくる
ふるさとになる！**

3　自然保育の今後について

自然保育の普及

保育・幼児教育の質を
追及することは豊かな学校教育の
実現にもつながる！！

**自然保育の有効性を検証し、
エビデンスをネットワークに提供！**

地方自治体の課題を共有し、
国や社会に対して問題提起しつつ、
**地方ならではの特色ある保育・幼児教育が
認められるよう求めていきたい！**

幼児教育の無償化

森のようちえんなどの
認可外保育施設は存続の危機

地方創生の観点からも、**多様な保育・幼児教育**を維持するため無償化の対象にすべき！

保育・幼児教育の充実は
未来社会の基盤づくりに
不可欠な投資！

学びの県づくり！信州